

# めざせ！受動喫煙ゼロ

たばこの煙は家族や従業員の健康を奪います。

喫煙は、がんや脳卒中、循環器疾患、呼吸器疾患、COPD（慢性閉塞性肺疾患）などの多くの病気の原因であると知られていますが、他人のたばこの煙を吸わされる受動喫煙も、肺がんや虚血性心疾患、乳幼児のぜんそく等の病気の原因になっています。

受動喫煙による肺がんと虚血性心疾患の死亡数は、年間6,800人にのぼると推測されています。

## 子どもにはこんな影響があります！

子どものいる場所でたばこを吸うと、その子どもは病気にかかりやすくなると言われています。

### たばこの煙を吸わない場合との比較

- 赤ちゃんが突然死んでしまう病気にかかる割合（乳幼児突然死症候群） → 両親ともに喫煙者の場合 4.7倍  
親の一人が喫煙者の場合 1.6倍
- 肺炎や気管支炎にかかる割合 → 1.5~2.5倍
- 中耳炎にかかる割合 → 1.2~1.6倍
- 気管支ぜんそくにかかる割合 → 1.5倍

（厚生省心身障害研究 1998）

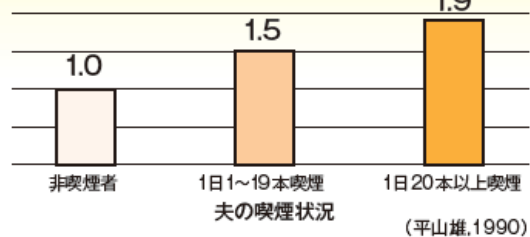


## 家族にはこんな影響があります！

妻がたばこを吸わなくても夫が喫煙する場合、1日1~19本で**1.5倍**、1日20本以上で**1.9倍**、妻が肺がんで死亡するリスクが高くなるという結果が示されています。

妻の肺がん死亡率（倍）

夫の喫煙と妻の肺がんの死亡率  
（妻は非喫煙者）

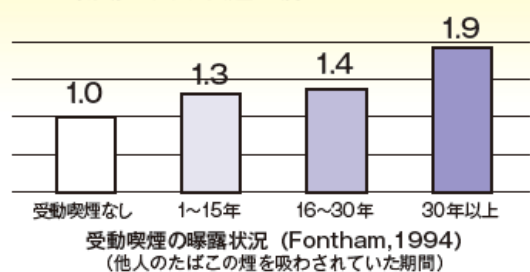


## 職場ではこんな影響があります！

働く人にとって1日の大半を過ごす場所である職場。自身がたばこを吸ってなくても、職場で30年以上受動喫煙が続くと、肺がんのリスクが1.9倍高まるというデータがあります。

肺がんのリスク（倍）

職場の受動喫煙と肺がんのリスク



他の人にたばこの煙を  
“吸わせる”ことは問題なのです。

